

朝の打ち合わせ（７月９日（金）） 校長より

< 1学期をまとめ、夏休みへ >

- 1学期期末考査が終わって1週間。1学期もあと残り1週間。
- 授業アンケートによる授業改善や、生徒の自己評価による学びの改善に取り組んで欲しい。教育活動のPDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルにおいてCA（評価・改善）を重視。
- 1学期をまとめ、夏休みに上手につなげていくことが大切。

< 研究授業（7月7日（水）） >

- 3年生生活コースの家庭科（子ども文化）の授業。生徒による紙芝居の発表。
- 本時の目標を板書し、育成したい資質・能力の評価指標<ルーブリック>との関係づけも明確だった。
- 紙芝居は思考力・判断力・表現力等を育成するという点で重要。どの生徒も、聞き手にストーリーがしっかり伝わるように工夫しながら読み上げていた。
- おかしい場面では笑い、読み手の生徒の呼びかけに応答するなど、聞く生徒の態度や反応もよかった。
- 評価観点を共有し、発表者による自己評価、聞き手による評価を行うことは、学びとしての評価という点からも教育的意義がある。
- 発表する生徒も聞き手の生徒も緊張する場面を設定することによって、生徒の学びのステージが上がっていく。
- 次時では、自己評価と聞き手の評価を踏まえ、本時の総括と助言をし、次の学びにつなげることを期待。
- 以上のような目標・指導・評価の一体化を意識した授業について、他教科でも、参考となるし、学ぶべき点もいろいろある。
- 日ごろの指導の成果が表れた授業だった。引き続き、よろしくお願いします。

< 地域連携授業（7月8日（木）） >

- 3年生ビジネスコースの生徒を対象に、遠野和紙の原料「楮（こうぞ）」の芽かき作業を実施。地域を学びのフィールドとする遠野和紙保存プロジェクトの一環でもある。
- 地域おこし隊、遠野和紙製作ボランティアの会、中山間地域集落支援員、遠野支所の皆様のご指導を仰ぎながら、どの生徒も熱心に取り組んだ。我が校は地域に支えられていることを生徒も実感。地域の皆様、ありがとうございます。
- 地域おこし隊の皆さんが楮の苗木を寄贈。教材として活用したい。
- 遠野和紙の粘剤となる「トロロアオイ」が芽を出し、家庭クラブの生徒が毎日水やりをしている。遠野和紙保存プロジェクトにより、遠野のDNAを伝えていきたい。

<手帳の使い方講習会（7月8日（木））>

○1年生を対象に手帳の使い方講習会（7月8日（木））を実施。

○手帳の活用を通して、目標達成に向け、自分をどうマネジメントしていくか考える良い機会となった。

<さまざまな活動>

○アルバム写真（7月5日（月）、6日（火）、8日（木））、T-P a l（7月6日（火）、7日（水））、電子辞書活用講習会（7月7日（水））、放課後清掃活動（7月7日（水））など、放課後にさまざまな活動を展開。

朝の打ち合わせ（7月8日（木）） 校長より

○引き続き、基本的な感染防止対策を徹底し、日常的な取り組みとして定着させることが重要。

朝の打ち合わせ 7月7日（水） 校長より

○不祥事根絶のために、当事者、同僚、管理職それぞれの立場において必要なことは何かを意識することが大切。

○当事者としては、自己の客観視。自分ならどうするか。自分のやり方は正しいのか。自分はどのように見られているのか。

○同僚としては、セーフティネットとしての役割。

○管理職としては、教職員の孤立化の防止。

朝の打ち合わせ 7月6日（火） 校長より

○学校現場に大きな混乱を招き、生徒、保護者、地域の信頼を根底から揺るがすことになる教職員による不祥事の根絶は重要。

○不祥事を他人事としてではなく、自らの問題として受け止め、自らの言動を様々な視点で捉え直していくべき。